

代表質問



定例議会において代表質問致しました。

●女性副知事の登用について

質問 女性副知事登用により、二人体制となる副知事の役割分担についてどのように考えているか。

答弁 人口減少対策で中心的な役割を担うことから、様々な分野が連携する必要があり、複数の部局を担当させたい。具体的な役割分担は、人選が確定した段階で部局間の連携も考慮しながら決める。

●人口減少対策について

質問 甲府駅を6時台に出発して、八王子駅に7時半、新宿駅に8時半に到着する通勤通学を目的とした早朝の快速の列車の導入を提言しているが、早朝快速の列車導入について県の考えは？また、今後どのように取り組んでいくのか。

答弁 早朝に甲府駅から東京方面へ向かう快速列車の導入は、本県の定住人口の確保対策の一つとして、大変重要な取り組みであると考えている。今後は、利用促進の取り組みを検討する中で、快速列車の導入に向けた方策についてJR東日本と協議するなど引き続き実現に取り組んでいく。

●リニア中央新幹線の建設に伴う公共施設の移転について

質問 私の母校である中道北小学校など予定ルート上にあり、移転の必要がある市や町の公共施設の移転に関してどのように対応していくのか。

答弁 施設の移転後も現在と同等の機能が確保され、移転により使用できない期間が生じることのない適切な移転計画となるよう必要な助言を行うとともに、JR東海に対して、市町の考えを踏まえた対応を要請するなど沿線市町を支援していく。

●ひきこもり対策について

質問 ひきこもりの相談窓口はどのような体制で、どのような支援を行うのか。

答弁 相談窓口では、電話相談を中心に、必要に応じて面接相談等も行った上で、医療的支援の必要性も含め検討し、医療機関や県、市町村の福祉・保健担当部署、学校等、最も適した支援機関へつないでいく。

質問 「生活困窮者自立支援法」の枠組みをひきこもり対策の支援に生かすことで、よりきめ細やかな支援が可能になると考えるが、県の考えは。

答弁 国や県、市町村の関係機関、社会福祉協議会やひきこもりの支援団体などによる検討会議を設置するとともに、生活困窮者自立支援法の相談窓口とも連携して、切れ目なく適切な支援を行うことができる体制を構築していく。

●県立病院における医療安全管理対策について

質問 県立病院において、医療事故防止のため、どのような安全管理対策がとられているのか。

答弁 中央病院及び北病院とも、医療安全管理委員会、医療安全管理室を設置し、毎月ヒヤリハット事例の報告、検証を行うなど、医療の安全確保に取り組んでいる。また、県の実施する医療監視の際に必要な指し指導を行うとともに、外部の有識者で構成する県立病院機構評価委員会において、毎年、医療安全の取り組み状況の評価を行っている。

●野生鳥獣害対策について

質問 平成24年度末で、約6万9千頭のニホンジカが生息しているとの国の推計値が公表された。ニホンジカの捕獲対策について、現場での処分方法等の課題も踏まえる中で、積極的に推進して行く必要があるが、県の考えは。

答弁 平成35年度までにニホンジカの生息数を半減させることを目標とした新たな鳥獣管理計画を策定し、本年度の捕獲数を1万4千頭に増やすなど、管理捕獲の強化を図っている。今後は、捕獲現場での処分方法についても他県の先進事例などを参考にし、円滑な管理捕獲の推進に努めていく。

●農産物の鳥獣害対策について

質問 農作物の鳥獣害対策について、これまでどのように取り組まれ効果が上がっているのか、また今後どのように取り組んでいくのか。

答弁 従来の対策に加え、平成25年度より集落ぐるみの被害防止活動を強化し、農作物の被害額が減少に転じるなど効果があらわれている。本年度は新たに野生鳥獣の被害を受けにくい農作物の栽

培実証を行い、農作物被害のさらなる軽減に向け積極的に進めていく。

●県産野菜の販売戦略について

質問 高品質な県産野菜の認知度の向上に向けて、取り組みを強化していく必要があると考えるが、県としてどのように取り組んでいくのか。

答弁 果実と組み合わせたPRが効果的であることから、都内百貨店や首都圏企業の社員食堂での試食宣伝を通じて、県産野菜の品質の高さをアピールするとともに、県内ホテルなどにおける県産食材の利用を促進し、利用促進と生産拡大を一体的に推進していく。

●観光資源の継続的な強化について

質問 既存の観光資源や宣伝方法を改善し、継続して集客力の強化を図ることは、周遊観光を図るうえで重要であり、県内各地へ周遊する本県の観光を推進する施策となると考えるが、県の考えは。

答弁 本年度は、県内の神社仏閣の風習や言い伝え、祭りなどの行事を新たな観光資源として、ハンドブックに取りまとめ、県内外に広く情報発信していく。今後も、農業や産業と連携した新たな観光資源の掘り起こしや利便性の高い交通網の構築を検討する中で、周遊観光の促進を図っていく。

●新山梨環状道路東部区間の整備について

質問 新山梨環状道路東部区間の整備について、渋滞緩和のため早期の工事完成を期待しているが、道路計画における構造の検討状況と今後の取り組みは。

答弁 地域の皆さんの意見に対応するため、最適な道路構造の検討を進めており、本年秋以降に道路計画を示し、地域の皆様のご理解をいただきながら、早期に工事着手できるように努めていく。

●きめ細かな教育の実施について

質問 全国で約4万2千人の教職員を削減するという財務省案をどのようにとらえているのか、また、本県の少人数教育を、今後、どのように推進し、展開していくのか。

答弁 いじめや不登校など多くの課題に直面している状況から、単に少子化を理由とした教職員定数削減案は受け入れがたい。少人数教育については、昨年度から、小中学校の全学年で実施している少人数学級の効果を検証するとともに、チーム

ティーチングなど少人数指導のあり方について検討していく。

質問 教員の多忙化解消の取り組みが求められているが、県教育委員会としては、どのように考え、取り組んでいくのか。

答弁 教員の多忙化解消にかかわる検討会を設置し、校長会、教頭会、事務職員会の代表者等と意見交換を行うとともに、今年度実施したアンケート調査の結果も踏まえ、多忙化解消に向けた業務改善に取り組んでいく。

●危険ドラッグ対策について

質問 県内の危険ドラッグ販売店の数、危険ドラッグに関連した事件・事故の発生状況及び根絶に向けた取り組みは。

答弁 販売店は、昨年6月までに全店舗が自主閉店している。平成26年以降、指定薬物の所持違反により4件5人を検挙し、本年2月に密売人を逮捕するとともに、交通事故事案として、危険ドラッグを吸引して事故を起こした男性を昨年9月に道路交通法の過労運転等の禁止違反で検挙した。今後も危険ドラッグの根絶に向け、密売人等の検挙の徹底や薬物乱用防止活動を強化していく。

御多忙の折、かけつけてくださり、ありがとうございました。



平成27年6月定例会本会議傍聴記念 平成27年6月22日

ご質問・ご意見等ございましたら是非ご一報ください。寄せて頂く皆様の声が私の政治政策となります。宜しくお願い致します。

土橋 亨

連絡先／ 土橋とおる県議会議員事務所
〒400-0806 甲府市善光寺3-34-27 (株)タクト2F
TEL 055-227-5002 FAX 055-233-9393
E-mail : kyoyukai@wave.plala.or.jp